

環境経営レポート

2022年度

(期間:2022年11月~2023年10月)

発行日:2023年12月1日

株式会社アップルホーム

目 次

1. 組織の概要、認証・登録の対象範囲	1p.
2. 環境経営方針	2p.
3. 環境経営目標	3p.
4. 環境経営計画	4p.
5. 環境経営目標の実績	5p.
6. 実施体制図、環境経営計画に基づき実施した 取組内容	6p.
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	7p.
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8p.
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9p.
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	9p.

1. 組織の概要、認証・登録の対象範囲

[組織の概要]

- | | |
|----------------------------|---|
| 1) 事業所名
代表者氏名 | 株式会社アップルホーム
代表取締役 小宮 香織 |
| 2) 所在地 | 本 社
〒811-1313 福岡市南区日佐2丁目8番14号 |
| 3) 創設年度 | 昭和52年2月 |
| 4) 環境管理責任者
担当者氏名
連絡先 | 吉野 真人
小宮 香織
TEL 092-586-5077 FAX 092-586-5099
e-mail : komiya@ah.p001.jp |
| 5) 事業の内容 | 特定建設業 福岡県知事許可(特-3)第36969号
建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業 |
| 6) 事業の規模 | 総売上額:12,272万円
従業員数 5名
事務所床面積 37.25㎡ |
| 7) 事業年度 | 11月～翌年10月 |

[認証・登録の対象範囲]

- | | |
|----------|--|
| 1) 対象範囲 | 上記の全組織及び全活動 |
| 2) 事業活動 | 建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業
及び設計・施工管理 |
| 3) 対象事業所 | 本社 |

2. 環境経営方針

株式会社 アップルホームは、建築工事を通じて地球環境の保全の重要性を認識し、環境経営システムに基づき、環境保全に社員一丸となって、継続的、積極的に取り組むとともに、環境経営の継続的改善を推進していきます。

(行動指針)

- 1 環境負荷削減の為、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ① 事業活動に伴って発生する二酸化炭素の排出量削減
 - ② 廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルの推進
 - ③ 水使用量の節水・削減
 - ④ 環境に配慮した設計・施工
- 2 事業活動について適用される環境関連法規を厳守します。
- 3 環境経営レポートを作成し、公表します。
- 4 環境経営方針を全社員に周知し、全員で環境改善活動に取り組みます。

制定日 令和3年12月20日

改定日 令和4年10月 1日

株式会社 アップルホーム

代表取締役 小宮 香織

3.環境経営目標

環境経営目標		単位	基準年 2020年度	目標				
				2021年度 (1%削減)	2022年度 (2%削減)	2023年度 (3%削減)	2024年度 (4%削減)	
				2020年11月～ 2021年10月	2021年11月～ 2022年10月	2022年11月～ 2023年10月	2023年11月～ 2024年10月	2024年11月～ 2025年10月
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5,772	5,714	5,656	5,599	5,541	
2	電気使用量削減	本社	kWh	2,381	2,357	2,333	2,310	2,286
		作業所	kWh	132	131			
		工事現場	kWh	2,331	2,308	2,284	2,261	2,238
3	ガソリン使用量削減	本社	ℓ	1,636	1,620	1,603	1,587	1,571
4	産業廃棄物の再資源化率の維持(95%以上)	工事現場	%	100	95	95	95	95
5	水使用量の削減	工事現場	m ³	63.0	62.4	61.7	61.1	60.5
6	化学物質の適正管理	工事現場	—	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持
7	環境に配慮した施工の推進 (周辺環境への配慮, 苦情ゼロ維持)	工事現場	件	0	0	0	0	0
8	地域貢献活動の推進	本社	回	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上

4. 環境経営計画(2022年度)

I. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	該当事業所	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
1 電気使用量の削減	本社	1 エアコン設定温度を決め、実行する	小宮				←
		2 不要な照明の消灯					→
		3 夏のクールビズ、冬のウォームビズ励行			→		←
		4 パソコン・コピー機等OA機器の省電力設定					→
	現場	1 エアコン設定温度を決め、実行する	吉野	←			→
		2 不要な照明の消灯		←			→
		3 夏のクールビズ、冬のウォームビズ励行		←	→		←
		4 エネルギー消費が少ない施工方法を選定する		←			→
2 ガソリン使用量の削減	本社	1 法定速度の厳守	小宮	←			→
		2 タイヤの空気圧の確認		←			→
		3 エコドライブ(急発進・急加速の禁止等)推進		←			→
	現場	1 法定速度の厳守	吉野	←			→
		2 タイヤの空気圧の確認		←			→
		3 エコドライブ(急発進・急加速の禁止等)推進		←			→
3 灯油使用量の削減	本社	1 設定温度の調整	小宮	←	→		
		2 ファンヒーターのフィルターをこまめに掃除		←	→		

II. 廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
4 一般廃棄物排出量の削減	本社	1 コピー用紙の削減、裏紙を利用する	小宮	←			→
		2 分別回収を行いリサイクルを推進する		←			→
5 産業廃棄物の再資源化の推進	現場	1 廃棄物管理票をもとに廃棄物の適正な処理を行う	吉野	←			→
		3 分別管理を行いリサイクルに回せるものはリサイクルする		←			→
		4 コピー用紙の削減、裏紙の活用		←			→

III. 水使用量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
6 水使用量の削減	現場	1 節水活動の推進	吉野	←			→

IV. 化学物質の適正管理(自らが施工する建築物等のサービスの改善)

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
7 化学物質の適正管理	現場	1 塗装材料の適量使用と現場保管量の最小化	吉野	←			→

V. 環境に配慮した施工の推進

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
8 環境を配慮した苦情のない施工管理	現場	1 環境に配慮した苦情のない施工	吉野	←			→
		2 環境に配慮した施工の推進	吉野	←			→

VI. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11~1月	2~4月	5~7月	8~10月
9 地域貢献活動の推進(近隣清掃活動)	本社	1 近隣清掃活動	小宮	←			→
		2 地域貢献活動の推進	小宮	←			→

5. 環境経営目標の実績

活動期間:2022年11月～2023年10月)

環境経営目標	単位	基準年 2020年度	目標、実績					
			2022年度目標 (2%削減)	2022年度実績	達成状況 %	評価		
			2020年11月～ 2021年10月	2022年11月～ 2023年10月	2022年11月～ 2023年10月	2022年11月～ 2023年10月	2022年11月～ 2023年10月	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5,772	5,656	940	602	○	
2	電気使用量削減	本社	kWh	2,381	2,333	1,391	168	○
		作業所	kWh	132				
		工事現場	kWh	2,331	2,284	112	2,039	—
3	ガソリン使用量削減	本社	ℓ	1,636	1,603	167	961	○
5	産業廃棄物の再資源化率の維持(95%以上)	工事現場	kg	100	95	100	100	○
6	水使用量の削減	工事現場	m ³	63.0	61.7	0	--	○
7	化学物質適正管理	工事現場	—	適正管理の維持	適正管理の維持	適正管理の維持	100	○
8	環境に配慮した施工の推進 (周辺環境への配慮, 苦情ゼロ維持)	工事現場	件	0	0	0	100	○
9	地域貢献活動の推進	本社	回	1回以上	1回以上	1回以上	100	○

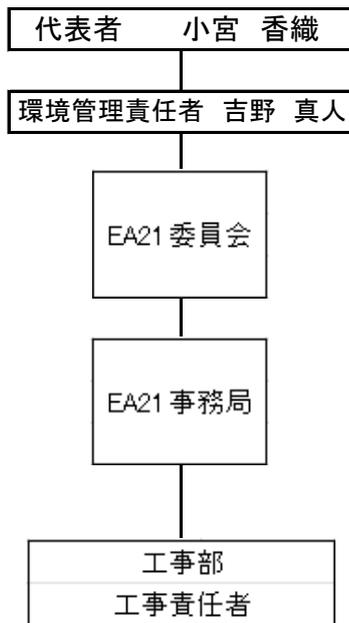
※ただし、試行期間の目標値は、前年度同月計に対して1%削減とする。

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、九州電力の2019年度二酸化炭素調整後排出係数(0.371kg-CO₂/kwh)を使用しています。

※削減目標の達成率は目標値/実施値×100(%)で算出しました。

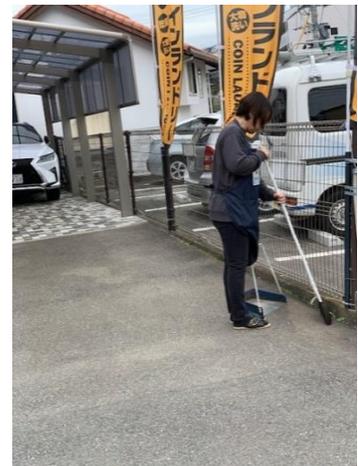
※増加目標の達成率は実績値/目標値×100(%)で算出しました。

6. 実施体制図



※地域貢献活動

近隣清掃活動



※二酸化炭素の排出量の削減

節電の推進



節水活動の推進



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
電気使用量削減	エアコン設定温度の実行	○	○	本社でのタイヤ空気圧の確認ができていない。 主電源から切るのが難しい機器は、節電設定にし省電力に努めた。	引き続き不必要な時は消灯を行う。 ガソリンを入れるとき空気圧の確認を行う。
	不要な照明の消灯	○			
	パソコン・コピーの省電力設定	○			
ガソリン使用量削減	法廷速度の厳守	○	○	主電源から切るのが難しい機器は、節電設定にし省電力に努めた。	引き続き不必要な時は消灯を行う。 ガソリンを入れるとき空気圧の確認を行う。
	タイヤの空気圧の確認	△			
	エコドライブの推進	○			
灯油使用量削減	設定温度の調整	○	○		
	ファンヒーターのこまめな掃除	○			

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
一般廃棄物	コピー用紙の削減	○	--	積極的に裏紙の再利用を実施した。	引き続き、コピー用紙削減に取り組み、分別回収も徹底する。
産業廃棄物	分別回収でリサイクルの推進	○	○		

3. 水使用量削減

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
節水活動の推進		○	○	節水活動ができています。	節水を意識して取組を行います。

4. 化学物質の適正管理

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
塗装材料の適量使用と現場保管量の最小化		○	○	材料の適量使用・現場保管量の最小化が出来ている。	継続して材料の適正使用・保管量の最小化の取組を行います。

5. 環境に配慮した施工の推進

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
環境に配慮した施工の推進		○	○	環境に配慮した施工ができています。	継続して環境に配慮した施工を実施します。

6. 地域貢献活動の推進

活動項目		実施状況	目標の達成状況	評価	次年度の取組内容
近隣清掃活動		○	○	近隣清掃ができています。	継続して清掃を実施します。

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

8.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標は、「3. 環境経営目標」に記載の2023年度の目標を
変更することなく取り組みます。
次年度の環境経営計画は次のとおりです。

I. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	該当事業所	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
1 電気使用量の削減	本社	1 エアコン設定温度を決め、実行する	小宮				←
		2 不用な照明の消灯		←			→
		3 夏期のクールビズ、冬期のウォームビズ励行		←	→		←
		4 パソコン・コピー機等OA機器の省電力設定		←			→
	現場	1 エアコン設定温度を決め、実行する	吉野	←			→
		2 不用な照明の消灯		←			→
		3 夏期のクールビズ、冬期のウォームビズ励行		←	→		←
		4 エネルギー消費が少ない施工方法を選定する		←			→
2 ガソリン使用量の削減	本社	1 法定速度の厳守	小宮	←			→
		2 タイヤの空気圧の確認		←			→
		3 エコドライブ(急発進・急加速の禁止等)推進		←			→
	現場	1 法定速度の厳守	吉野	←			→
		2 タイヤの空気圧の確認		←			→
		3 エコドライブ(急発進・急加速の禁止等)推進		←			→
3 灯油使用量の削減	本社	1 設定温度の調整	小宮	←	→		
		2 ファンヒーターのフィルターをこまめに掃除		←	→		

II. 廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
4 一般廃棄物排出量の削減	本社	1 コピー用紙の削減、裏紙を利用する	小宮	←			→
		2 分別回収を行いリサイクルを推進する		←			→
5 産業廃棄物の再資源化の推進	現場	1 廃棄物管理票をもとに廃棄物の適正な処理を行う	吉野	←			→
		3 分別管理を行いリサイクルに目せるものはリサイクルする		←			→
		4 コピー用紙の削減、裏紙の活用		←			→

III. 水使用量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
6 水使用量の削減	現場	1 節水活動の推進	吉野	←			→

IV. 化学物質の適正管理(自らが施工する建築物等のサービスの改善)

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
7 化学物質の適正管理	現場	1 塗装材料の適量使用と現場保管量の最小化	吉野	←			→

V. 環境に配慮した施工の推進

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
8 環境を配慮した苦情のない施工管理	現場	1 環境に配慮した苦情のない施工	吉野	←			→
		2 環境に配慮した施工の推進	吉野	←			→

VI. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
				11～1月	2～4月	5～7月	8～10月
9 地域貢献活動の推進 (近隣清掃活動)	本社	1 近隣清掃活動	小宮	←			→
		2 地域貢献活動の推進	小宮	←			→

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物の再資源化の実施
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
石綿障害予防規則	石綿除去作業時の保護服の遵守 労働基準監督署への事前調査報告書の提出
大気汚染防止法	石綿含有建材事前調査の実施 石綿排出等作業結果の発注者への報告

2023年10月31日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

昨年度の達成状況に基づき、引き続きエコアクション21に取り組みました。

本社、現場で各個人が可能な限りの環境目標達成に向けての行動を行いました。

産業廃棄物の削減は、現場においては下請け業者の協力の元、確実に行うことができ本社においても分別回収等に努めました。

CO2削減についても、電力・ガソリン使用量の削減を意識を持って取り組みました。

今後とも、環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制の
環境経営システムに則って活動の取組を実施します。